

BOSE

ULTRA OPEN EARBUDS (2ND GEN)

安全上の留意項目および使用方法をよく読み、それに従ってください。

適合宣言書およびその他の製品コンプライアンス情報については、次のサイトを参照してください。
www.Bose.com/compliance

 Bose Corporationは、この製品がEU指令2014/53/EUおよび該当するその他すべてのEU指令の必須要件およびその他の該当条項に準拠していることを宣言します。

安全上の留意項目

この製品を水の近くで使用しないでください。

お手入れは乾いた布を使用して行ってください。

必ず指定された付属品、あるいはアクセサリのみをご使用ください。

修理が必要な際には、**Bose**カスタマーサービスにお問い合わせください。製品が正常に動作しない場合や、物理的に破損した場合には、修理が必要です。



警告/注意

- 誤って飲み込まないように、本製品はお子様やペットが触れない場所に置いてください。本製品にはバッテリーが内蔵されているため、飲み込むと事故につながる恐れがあります。飲み込んでしまった場合は、すぐに医師の診断を受けてください。使用していないときは、本製品をお子様やペットの手の届かないところに保管してください。
- 本製品はお子様のご使用を想定していません。
- 耳への負担を避けるため、ヘッドホンを大音量で使用しないでください。再生機器の音量を下げてからヘッドホンを耳に装着し、快適な適度な音量になるまで少しずつ音量を上げてください。
- 耳への負担を避けるため、イヤホンスピーカーを直接耳に挿入しないでください。スピーカーが耳の外側にあり、バレルが耳の後ろにくるようにイヤホンを装着してください。イヤホンの装着方法については、12ページをご覧ください。
- 車両の運転中に本製品を使用することは、一部の国や地域では法律で禁止されている場合があります。使用について十分な注意を払い、適用される法律に従ってください。本製品の使用により、注意力が低下する場合や、自動車の運転中にアラームや警告音など周囲の音が聞き取れなく場合は、直ちに使用を中止してください。
- ヘッドホンを使用しながら、注意力が求められる活動をする場合は、注意してください。車道、建設現場、線路などの付近を歩いているときなど、外部音がはっきり聞こえないことによって自身や他の人に危険が生じる可能性がある場合は、ヘッドホンを使用しないでください。
- 本製品を水に沈めたり、長時間水にさらしたりしないでください。
- 製品から熱が発生していることに気づいたら、すぐに外してください。



この記号は、本製品で互換性のない電池/バッテリーや不適切な方法で取り付けられた電池/バッテリーを使用すると、安全上の問題が発生する可能性があることを意味しています。電池/バッテリーに関するサービスオプションについては、**Bose**カスタマーサービスにお問い合わせいただくか、bose.com/battにアクセスして詳細をご確認ください。



のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。



この製品には磁性材料が含まれています。体内に埋め込まれている医療機器への影響については、医師にご相談ください。

- 許可なく製品を改造しないでください。
- 火気や熱源などの近くで使用しないでください。火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。
- この製品には、法令(UL、CSA、VDE、CCCなど)に準拠したLPS電源アダプターのみをお使いください。

- ・ 本製品に付属のバッテリーは、取り扱いを誤ったり、正しく交換しなかったり、誤ったタイプのバッテリーと交換したりすると、火災や化学やけどなどの原因になる恐れがあります。
- ・ 電池/バッテリーが液漏れしている場合は、漏れた液に触れたり目に入れたりしないでください。液が身体に付着した場合は、医師の診断を受けてください。
- ・ 電池/バッテリーが含まれる製品を直射日光や炎など、過度な熱にさらさないでください。
- ・ 本製品では、**Bose** 認定の互換性のある電池/バッテリーのみをご使用ください。電池/バッテリーに関するサービスオプションについては、**Bose** カスタマーサービスにお問い合わせください。
- ・ 充電する前に、イヤホンと充電ケースから汗を拭き取ってください。
- ・ 身に着けるときや、ポケット、ハンドバッグ、キャリーバッグなどに入れて持ち運ぶときは、充電ケースの蓋をしっかりと閉じてください。

警告：潤滑剤、洗浄剤、接点スプレー、炭化水素系溶剤など、**Bose** が指定していない化学物質に製品をさらさないでください。このような物質にさらされると、プラスチック素材が劣化し、ひび割れが生じたり危険な状態を引き起こしたりする可能性があります。

注: 本製品は、FCC規則のパート15に定められたクラスBデジタル装置の規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに準拠することが確認されています。この規制要件は、住宅に設置した際の有害な干渉に対し、合理的な保護となるように策定されています。本製品は無線周波数エネルギーを発生・利用・放射することがありますので、指示どおりに設置および使用されない場合は、無線通信に有害な電波干渉を引き起こす可能性があります。しかし、特定の設置条件で干渉が発生しないことを保証するものではありません。本製品が、電源のオン・オフによりラジオ・テレビ受信に有害な干渉を引き起こしていることを確認された場合、次の1つあるはいくつかの方法で対処を試みることをおすすめします。

- ・ 受信機やアンテナの向きや位置を変える。
- ・ 機器と受信機の間隔を広げる。
- ・ 受信機の接続されているコンセントとは別の回路のコンセントに本製品を接続する。
- ・ 販売店もしくは経験豊富なラジオ・テレビ技術者に相談する。

Bose Corporationによって明確な許諾を受けていない本製品への変更や改造を行うと、この機器を使用するユーザーの権利が無効になります。

本装置は、FCC規則のパート15に準拠しています。

動作は次の2つの条件に従う必要があります: (1) 本製品は有害な干渉を引き起こしません。(2) 本製品は、不適切な動作を招く可能性がある干渉を含め、いかなる干渉も対応できなければなりません。

本装置には、カナダ イノベーション・科学経済開発省のライセンス適用免除RSSに準拠した、ライセンス免除の送信機および受信機が含まれています。動作は次の2つの条件に従う必要があります:

1. 本装置は有害な干渉を引き起こしません。
2. 本装置は、不適切な動作を招く可能性がある干渉を含め、いかなる干渉も対応できなければなりません。

このデバイスは、FCCおよびカナダ イノベーション・科学経済開発省が一般用途向けに定めた電磁波放出制限に準拠しています。このトランスミッターは、他のアンテナまたはトランスミッターと一緒に配置したり、動作させたりしないでください。

FCC ID: A94638L / A94638R | **IC:** 3232A-638L / 3232A-638R

ケースの型番: 444638 | **右イヤホンの型番:** 638R | **左イヤホンの型番:** 638L



018-260050

018-260051

CAN ICES (B) / NMB (B)

CAN RSS-216 / CNR-216

ヨーロッパ向け: 運用周波数帯: 2400 ~ 2483.5 MHz。最大送信出力 20 dBm EIRP未滿。| 運用周波数帯: 111 kHz ~ 148 kHz。最大送信出力 37.7 dBuA/m未滿。| 最大送信出力がEUの規制値を下回っているため、適用される規制に基づき、EUのSAR試験は不要であり、試験実施が免除されています。



この記号は、製品が家庭ごみとして廃棄されてはならず、リサイクル用に適切な収集施設に送る必要があることを意味しています。適切な廃棄とリサイクルにより、自然資源、人体の健康、環境が保護されることになります。本製品の廃棄およびリサイクルに関する詳細は、お住まいの自治体、廃棄サービス、または本製品を購入された店舗にお問い合わせください。

低電力無線デバイスに関する技術規則: 会社、企業、またはユーザーは、NCCの許可なく、承認済みの低電力無線デバイスの周波数を変更したり、送信出力を強化したり、元の特性および性能を改変したりすることはできません。低電力無線デバイスが、航空機の安全に影響を及ぼしたり、正規の通信を妨害したりすることはできません。発見された場合、ユーザーは干渉が発生しなくなるまで直ちに使用を中止しなければなりません。上述の正規の通信とは、電気通信管理法に基づいて運用される無線通信を意味します。低電力無線デバイスは、正規の通信またはISM帯電波を放射するデバイスからの干渉に対応できなければなりません。



充電器から供給される電力は、無線機器に必要な最小2.5ワット以上であり、最大充電速度を達成するには最大2.5ワット以下でなければなりません。

この製品からリチウムイオンバッテリーを取り外さないでください。取り外しはサービス担当者にお任せください。

電力状態に関する情報: 本製品は、エネルギー関連製品のエコデザイン要件に関する指令2009/125/ECおよびエネルギー関連製品およびエネルギー情報のエコデザイン(改正)(EU離脱)規則2020に基づき、欧州委員会規則(EU) 2023/826に適合しています。さまざまなスタンバイモードにおける消費電力や、本製品が自動的にそれらのモードに戻るまでの時間に関する情報については、www.Bose.com/complianceにアクセスし、該当する規則を選択してください。



使用済みの電池/バッテリーは、お住まいの地域の条例に従って正しく処分してください。焼却しないでください。



有毒/有害物質または成分の名称および含有量						
有毒/有害物質および成分						
パーツ名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (Cr(VI))	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)
PCB	X	O	O	O	O	O
金属パーツ	X	O	O	O	O	O
プラスチックパーツ	O	O	O	O	O	O
スピーカー	X	O	O	O	O	O
ケーブル	X	O	O	O	O	O
この表はSJ/T 11364の規定に従って作成されています。 O: このパーツに使用されているすべての均質物質に含まれている当該有毒/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を下回っていることを示します。 X: このパーツに使用されている1種類以上の均質物質に含まれている当該有毒/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を上回っていることを示します。						

制限される物質および化学記号						
ユニット名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (Cr ⁺⁶)	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)
PCB	-	O	O	O	O	O
金属パーツ	-	O	O	O	O	O
プラスチックパーツ	O	O	O	O	O	O
スピーカー	-	O	O	O	O	O
ケーブル	-	O	O	O	O	O

注1:「O」は、制限される物質のパーセント含有量が、参照値のパーセントを超えていないことを示します。

注2:「-」は、制限される物質が免除に該当することを示します。

輸入元: Bose Products B.V., Avenue Ceramique 221, Begane Grond, 6221 KX Maastricht, The Netherlands | Ingram Micro Mexico SA de CV, Joselillo 3 Int. Piso 5 Col. El Parque, Naucalpan de Juarez, Edo Mex 53398 電話番号: +52 55 5263 6500 | Bose Limited (H.K.), 7F, No. 2, Sec.3, Minsheng E. Road, Zhongshan Dist., Taipei City 104511, 電話番号: +886-2-2514 7676 | Bose Limited, 16 Dufour's Place, London W1F 7SP

メキシコのサービスの電話番号: 0800-266-0292

出力容量: 400mAh (充電ケース)

入力定格 - 充電ケース: 5V $\overline{\text{---}}$, 1A

入力定格 - 左右イヤホン: 5.2V $\overline{\text{---}}$, 0.1A

モデル: 444638。ワイヤレスイヤホン(充電ケース付属)。CMIIT IDはパッケージに記載されています。

本製品には、**Bose エンドユーザー使用許諾契約**が適用されます。

www.Bose.com/legal/end-user-license-agreement

製品保証の詳細はworldwide.Bose.com/Warrantyをご覧ください。

ライセンス開示情報: Bose Ultra Open Earbuds (第2世代)のコンポーネントとして含まれるサードパーティ製ソフトウェアパッケージに適用されるライセンスの開示内容を表示するには、**Bose アプリ**を使用します。この情報は設定メニューから表示できます。

Apple、Appleのロゴ、iPad、およびiPhoneはApple Inc.の商標であり、アメリカ合衆国および他の国々に登録されています。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき日本で使用されています。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。

Made for Appleバッジの使用は、アクセサリがバッジに記載されているApple製品への接続専用に設計され、Apple社が定める性能基準に適合しているとデベロッパによって認定されていることを示します。Apple社は、本製品の動作や、安全性および規制基準の適合性について、一切の責任を負いません。

Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標で、Bose Corporationはこれらの商標を使用する許可を受けています。

Google、Android、およびGoogle PlayはGoogle LLCの商標です。

Snapdragon SoundはQualcomm Technologies, Inc.とその子会社の製品です。Qualcomm、Snapdragon、およびSnapdragon SoundはQualcomm Incorporatedの商標または登録商標です。

USB Type-C®およびUSB-C®は、USB Implementers Forumの登録商標です。

BoseおよびBのロゴはBose Corporationの商標です。| Bose Corporation Headquarters: 1-877-230-5639 | ©2026 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。

日付コード、シリアル番号、認証マークの位置: 日付コードと一部の認証マークは、イヤホンの平らな内面に記載されています。スピーカー部分を持ち、バレルをやさしく開いて、情報が見えるまで広げてください。シリアル番号は充電ケースの蓋の内側に記載されています。その他の認証マークは充電ケースの底面に記載されています。

控えとして、製品のシリアル番号を下の欄にご記入ください。

シリアル番号: _____

モデル番号: 444638

ご購入時の領収書を保管することをおすすめします。製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイト(worldwide.Bose.com/ProductRegistration)から簡単に行えます。

内容物の確認

内容物	10
-----------	----

BOSE アプリのセットアップ

Bose アプリをダウンロードする	11
イヤホンを既存のアカウントに追加する	11

装着方法

イヤホンを装着する	12
フィット状態をチェックする	13

電源

電源オン	14
電源オフ	15

イヤホンの操作

メディアの再生	16
ショートカット	17
音量調節機能	17
自動音量調節	18
通話	19
オーディオ EQ を調節する	19

ショートカット

ショートカットを使用する	20
ショートカットを変更する	20

イマーシブオーディオ

イマーシブオーディオ設定.....	21
イマーシブオーディオ機能の設定変更	22
モードを変更する	22
ショートカットを使用する.....	22
通話中のイマーシブオーディオ機能について	22
イマーシブオーディオの調整.....	22

リスニングモード

モード	23
モードを変更する	24
イヤホンのモードを追加する、削除する	24

機器の音声コントロール

機器の音声コントロール機能.....	25
--------------------	----

SPOTIFY TAP	26
-------------------	----

バッテリー

イヤホンを充電する	27
充電ケースを充電する	28
ワイヤレス充電.....	29
イヤホンの充電状態を確認する	30
イヤホンの使用中	30
イヤホンの充電中	30
充電ケースのバッテリー残量を確認する.....	30
充電時間	31

イヤホンと充電ケースの状態

イヤホンのステータスインジケーター	32
Bluetooth®の状態	32
バッテリー、アップデート、エラーの状態	33
充電ケースのステータスインジケーター	34
バッテリー、アップデート、エラーの状態	34

BLUETOOTH接続

Bose アプリを使用して接続する	35
機器の Bluetooth メニューを使用して接続する	35
機器を再接続する	36
別の機器を接続する	37
接続されている2台の機器を切り替える	37
機器の接続を解除する	37
イヤホンのデバイスリストを消去する	38
Android™デバイスのみ	39
Fast Pair 機能を使用して接続する	39
Snapdragon Sound™テクノロジー	40

防水性能	41
------------	----

補足事項

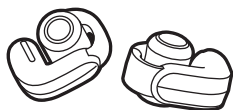
日付コード、シリアル番号、認証マークの位置	42
イヤホンと充電ケースのお手入れ	43
イヤホンをアップデートする	43
イヤホンを保管する	43
交換部品とアクセサリ	44
保証	44

トラブルシューティング

イヤホンと充電ケースをリセットする	45
イヤホンを工場出荷時の設定に戻す	46

内容物

下図の内容物がすべて同梱されていることを確認してください。



Bose Ultra Open Earbuds (第2世代)



充電ケース

注: 万が一、開梱時に内容物の損傷や欠品などが見られた場合は、使用しないでください。トラブルシューティング情報(記事、ビデオ)と製品の修理や交換については、support.Bose.com/uoe2をご参照ください。

Bose アプリを使用すると、スマートフォンやタブレットなどの機器からイヤホンのセットアップや操作ができます。

このアプリを使用して、**Bluetooth** 接続の管理、イヤホンの設定の管理、音量の調節、音声ガイドの言語の選択、Bose が今後提供するアップデートや新機能の適用を行うことができます。

注: 別の Bose 製品用の Bose アカウントを既に作成してある場合は、「イヤホンを既存のアカウントに追加する」をご覧ください。

BOSE アプリをダウンロードする

1. お使いの機器で Bose アプリをダウンロードします。



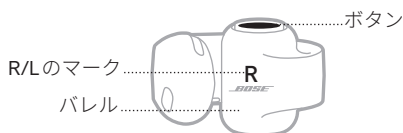
2. アプリの手順に従ってください。

イヤホンを既存のアカウントに追加する

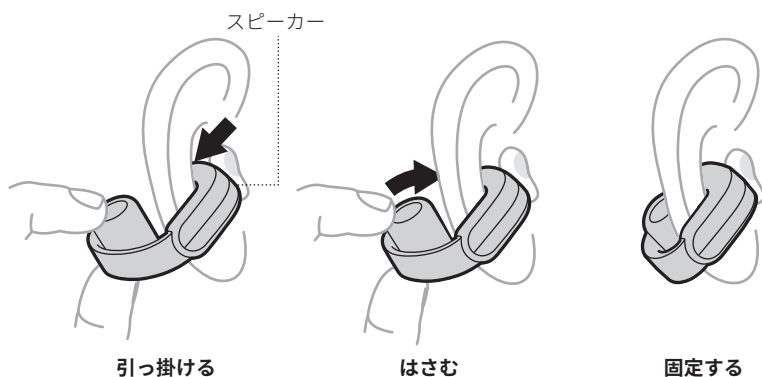
Bose Ultra Open Earbuds (第2世代)を追加するには、Bose アプリを開き、製品リスト画面からイヤホンを追加します。

イヤホンを装着する

1. ボタンを上にしてイヤホンのバレル型の部分を持ち、**R**(右)または**L**(左)のマークを自分の方に向けます。



2. イヤホンスピーカーを耳に引っ掛け、バレル部分が耳の後ろにくるようにして巻きつけます。



3. 最高の音質と性能を実現するには、イヤホンが耳に対して約45度の角度になるように調整してください。不快感がある場合や安定していない場合は、少し上下にスライドさせて最適な位置を探してください。

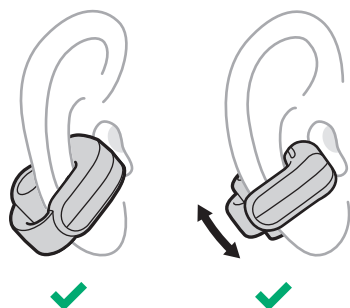


4. フィット状態をチェックします(13ページを参照)。
5. 手順1から4を繰り返して、もう片方のイヤホンを装着します。

フィット状態をチェックする

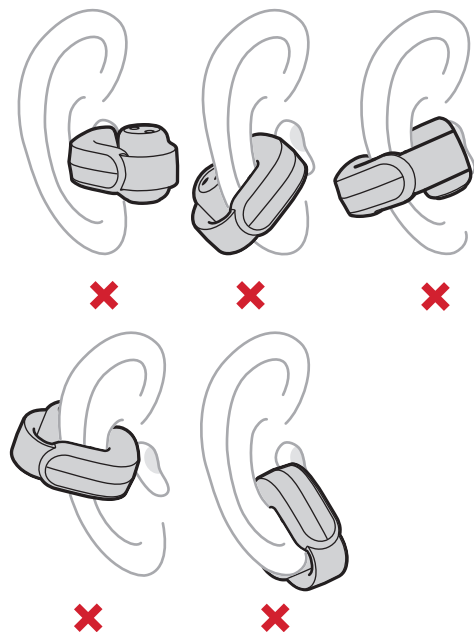
頭を上下左右に動かして、イヤホンが安定して快適な状態であることを確認します。その後、鏡を使ってフィット状態をチェックしてください。

正しくフィットしている



- ・イヤホンのバレル部分は耳の後ろにあり、ボタンは上を向いています。
- ・イヤホンスピーカーは耳の内側にあり、耳の穴には挿入されていません。
- ・イヤホンは耳に対して約45度の角度でフィットしますが、快適さを求めて上下に少しスライドさせることもできます。
- ・イヤホンは快適な装着感で安定しています。

フィットしていない

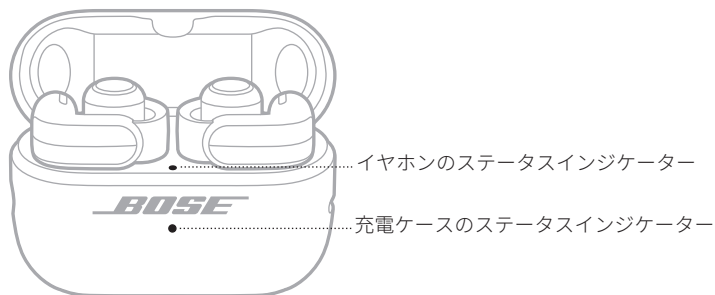


- ・イヤホンのバレル部分が耳の前側にあるか、ボタンが下を向いています。
- ・イヤホンスピーカーが耳の内側の面にあるのではなく、耳の穴に挿入されています。
- ・イヤホンのバレル部分が耳の後ろではなく、耳の内側にあります。
- ・イヤホンが顎や口に向かって下向きに傾いています。
- ・イヤホンに不快感、耳をはさんでいる、ゆるい、不安定などの感覚があります。

電源オン

充電ケースを開きます。

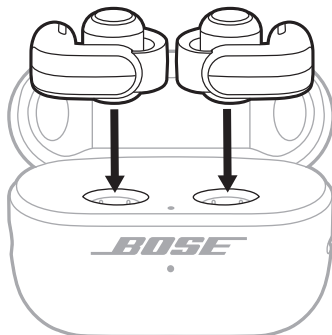
イヤホンの電源がオンになります。イヤホンのステータスインジケーターが充電状態に応じて点灯します(32ページを参照)。現在のケースの充電状態に応じて、充電ケースのステータスインジケーターが点灯します(34ページを参照)。



注: 充電ケースからイヤホンを取り出すときは、バッテリーの寿命を保ち、ケースにごみが入らないように、ケースを閉じてください。

電源オフ

1. 両方のイヤホンを充電ケースに入れます。



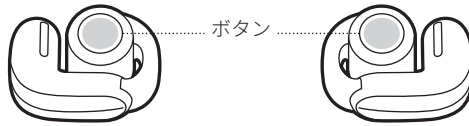
イヤホンと機器の接続が解除され、電源がオフになります。イヤホンのステータスインジケータが充電状態に応じて点灯します(34ページを参照)。

2. ケースを閉じます。

現在のケースの充電状態に応じて、充電ケースのステータスインジケータが点灯します(34ページを参照)。



左右のイヤホンのバレル部分の上部にボタンが1つずつあります。このボタンを使用して、メディアの再生、音量調節、通話機能、ショートカット機能进行操作します(20ページを参照)。



注: 音量調節を除くすべての機能は、どちらのイヤホンのボタンでも操作できます。音量調節については、左右のイヤホンのボタンで操作する機能が異なります(17ページを参照)。

メディアの再生

コントロール	操作方法
再生/一時停止	左または右のイヤホンのボタンを押します。 
次のトラックへ送る	左または右のイヤホンのボタンを続けて2回押します。 
前のトラックへ戻す	左または右のイヤホンのボタンを続けて3回押します。 

ショートカット

コントロール 操作方法

ショートカットを使用する	左または右のイヤホンのボタンを長押しします。 注記: ・ ショートカットを変更するには、Bose アプリをお使いください(20 ページを参照)。 ・ 左右のイヤホンに異なるショートカットを割り当てた場合は、割り当てた方のイヤホンのボタンを長押しします(20 ページを参照)。
---------------------	--



音量調節機能

コントロール 操作方法

音量を上げる	右イヤホンのボタンを押し、その後長押しします。 ボタンを押し続けると音量が上がります。希望する音量になったら指を放します。
音量を下げる	左イヤホンのボタンを押し、その後長押しします。 ボタンを押し続けると音量が下がります。希望する音量になったら指を放します。



ヒント: また、機器の音量コントロールまたは**Bose** アプリで音量を調節することもできます(11ページを参照)。

自動音量調節

このイヤホンは、周囲のノイズレベルに応じて音量を自動的に調節できます。そのため、オーディオの音量が周囲に対して一定に保たれます。

自動音量調節が有効の場合、ノイズレベルが設定された基準音量より高くなると、数秒後にオーディオの音量が比例して大きくなります。ノイズレベルが下がると、オーディオの音量が設定された基準音量のレベルに戻ります。

注:

- ・ ノイズに反応して音量が上がるまで数秒かかる場合があります。
- ・ 電話をかけたり受けたりする際は、自動音量調節が一時的に無効になります。通話を終了すると、自動音量調節は以前の設定に戻ります。

自動音量調節を有効にする

自動音量調節はデフォルトで無効になっています。自動音量調節を有効にするには、Boseアプリを使用します。このオプションは設定メニューから設定できます。

自動音量調節が有効の場合に手動で音量を調節する

手動で音量を調節するには、イヤホンのコントロール(17ページを参照)または機器の音量コントロールを使用して、音量の変化を耳で確認します。

注: イヤホンがノイズに応じて音量を上げている場合、手動で音量を調節しても、基準音量設定を現在のレベルより上げない限り、効果は最小限か一時的なものにしかならない可能性があります。そのような場合に音量を下げるには、Boseアプリを使用して自動音量調節を無効にします(11ページを参照)。

通話

コントロール	操作方法
着信に応答する	左または右のイヤホンのボタンを押します。 
終話する/着信を拒否する	左または右のイヤホンのボタンを続けて2回押します。 
通話中の相手を保留にして割り込み着信に応答する	左または右のイヤホンのボタンを押します。 
割り込み着信を拒否して、現在の通話を続ける	左または右のイヤホンのボタンを続けて2回押します。 

注: マイク性能を最適に保つには:

- ・ マイクポート (43 ページを参照) が塞がれていない状態で、ごみなどが付着していないことを確認してください。
- ・ 鏡を使ってイヤホンのフィット状態をチェックします (13 ページを参照)。

オーディオEQを調節する

低音、中音、高音を調節するには、**Bose** アプリを使用します。これらのオプションは製品コントロール画面から設定できます。

注: 大音量にすると、歪みを避けるためにこれらの調節の効果が小さくなる場合があります。

ショートカットを使用して、以下の機能にすばやく簡単にアクセスすることができます。

- ・ イマーシブオーディオ設定を順に切り替える (21ページを参照)
- ・ モードを順に切り替える (23ページを参照)
- ・ 機器の音声コントロール機能を使用する (25ページを参照)
- ・ Spotify Tap にアクセスする (26ページを参照)

注: デフォルトでは、両方のイヤホンで「イマーシブオーディオ(オフ)」がショートカットとして設定されています。

ショートカットを使用する

左または右のイヤホンのボタンを長押しします。



ショートカットを変更する

ショートカットの変更や、左右のイヤホンへの異なるショートカットの割り当てには、**Bose** アプリを使用します。このオプションにアクセスするには、製品コントロール画面の「ショートカット」をタップします。

注: 左右のイヤホンに異なるショートカットを割り当てた場合は、割り当てた方のイヤホンのボタンを長押しする必要があります。片方のイヤホンをケースに入れた場合、もう片方のイヤホンに割り当てられたショートカットしか使用できません。

イマーシブオーディオでは、頭の中で聞こえている音を目の前に定位させ、常に音響空間のスイートスポットにいるような感覚を味わうことができます。まるでイヤホンの外から音が聞こえてくるように感じるのも、より自然なリスニング体験ができます。イマーシブオーディオは、あらゆるソースのあらゆるストリーミングコンテンツに対応し、より透明感のあるサウンドと豊かな音質で新たなレベルへと導きます。

注: 電話をかけたり受けたりする際は、イマーシブオーディオが一時的にオフに設定されます (22 ページを参照)。

イマーシブオーディオ設定

設定	説明	使用するタイミング
移動	サウンドは目の前にある2本のステレオスピーカーから再生されているように聞こえ、頭の動きに合わせて位置が変わります。 注: イマーションモードでは、この設定がデフォルトで使用されます。	この設定を使用することで、より安定したリスニング体験が得られます。頻繁に首を回したり、下を向いたりするような活動をしているときに最適です。
静止	サウンドは目の前にある2本のステレオスピーカーから再生されているように聞こえ、頭を動かしてもその位置は変わりません。 注記: - 頭の動きを止めてから数秒後、スピーカーは現在のポジションで音像の中央を設定し直します。 - この設定にアクセスするには、Bose アプリを使用してイマーシブオーディオ設定を変更するか、カスタムモードを作成するか (23 ページを参照)、イマーシブオーディオ設定を順に切り替えるショートカットを設定します (22 ページを参照)。	最もリアルで迫力のあるリスニング体験のために使用します。静止しているときに最適です。
オフ	サウンドはイヤホンから再生されているように聞こえます。 注: ステレオモードでは、この設定がデフォルトで使用されます。	従来どおりの方法でリスニングしたいときや、バッテリーの消耗を抑えたいときに使用します。

注: デフォルトでは、両方のイヤホンで「イマーシブオーディオ(オフ)」がショートカットとして設定されています。

イマーシブオーディオ機能の設定変更

モードを変更するか、ショートカットを使用してイマーシブオーディオ設定を順に切り替えることで、イマーシブオーディオの設定を変更できます。

注：設定を変更した場合、イヤホンの電源をオンにすると最後に使用した設定が適用されます。

ヒント：Bose アプリを使用してイマーシブオーディオ設定を変更することもできます。このオプションは製品コントロール画面から設定できます。

モードを変更する

モードの変更方法は、24 ページをご覧ください。

ヒント：好みのイマーシブオーディオ設定を含むカスタムモードを作成することもできます(23 ページを参照)。

ショートカットを使用する

ショートカットを使って、イマーシブオーディオの設定を順に切り替えることができます。

1. このショートカットを割り当てたボタンを長押しします。



音声ガイドで、それぞれのイマーシブオーディオ設定が順に通知されます。

2. 希望する設定の名称が聞こえたら、ボタンから指を放します。

通話中のイマーシブオーディオ機能について

電話をかけたり受けたりする際は、イマーシブオーディオが一時的にオフに設定されます。通話を終了すると、イヤホン直前のイマーシブオーディオ設定に戻ります。

イマーシブオーディオの調整

イマーシブオーディオが正しく聞こえなかったり、近すぎると感じたりする場合は、耳に装着したイヤホンの位置に合わせて調整できます。この調整はイヤホンに保存され、今後イマーシブオーディオを有効にしたときにいつでも使用できます。

イマーシブオーディオを調整するには、Bose アプリを使用します。このオプションは設定メニューから設定できます。

リスニングモードはプリセットされたオーディオ設定で、リスニングの好みや環境に応じて切り替えることができます。デフォルトでは、一般的に使用されるイマーシブオーディオ設定で構成されています。

あらかじめ設定された3つのモード(ステレオ、イマーション、シネマ)から選択できるほか、最大7つのカスタムモードを作成できます。

モード

モード	説明
ステレオ	最適なBoseステレオサウンドで音楽を楽しめます。従来どおりの方法でリスニングしながら、バッテリーの消耗を抑えることができます。
イマーション	「移動」に設定されたイマーシブオーディオで音楽が再生されます。臨場感あふれるサウンドに浸ることができます。
シネマ	「静止」に設定されたイマーシブオーディオで音楽が再生されます。オーディオを空間化し、背景音とサウンド効果のバランスをとることで、ビデオコンテンツを映画のように体験できます。
カスタム	音の好みや環境に合わせて、イマーシブオーディオ機能をカスタム設定できます。 注: Boseアプリを使用して、最大7つのカスタムモードを作成できます。このオプションにアクセスするには、製品コントロール画面の「モード」をタップします。

注: イマーシブオーディオ設定については、21ページをご覧ください。

モードを変更する

注:

- イヤホンを使ってモードを切り替えるには、**Bose** アプリでショートカットとして設定しておく必要があります(20 ページを参照)。
- 設定を変更した場合、イヤホンの電源をオンにすると最後に使用した設定が適用されます。

- このショートカットを割り当てたボタンを長押しします。



音声ガイドで、それぞれのモードが順に通知されます。

- 希望するモードの名称が聞こえたら、ボタンから指を放します。

ヒント: Bose アプリを使用してモードを変更することもできます。このオプションにアクセスするには、製品コントロール画面の「モード」をタップします。

イヤホンのモードを追加する、削除する

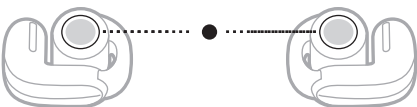
イヤホンのモードにアクセスするには、**Bose** アプリでお気に入りとして設定する必要があります。デフォルトでは、ステレオ、イマーション、シネマの各モードがお気に入りとして設定されています。

イヤホンのモードを追加または削除するには、製品コントロール画面の「モード」をタップし、お気に入りに設定するモードを指定します。

ショートカットを設定することで、イヤホンを使って機器の音声コントロールにすばやくアクセスできます。イヤホンに内蔵されているマイクが機器の外部マイクとして機能します。

注: イヤホンを使って機器の音声コントロールにアクセスするには、**Bose アプリ**でショートカットとして設定しておく必要があります(20 ページを参照)。

機器の音声コントロール機能

コントロール	操作方法
機器の音声コントロール機能を使用する	ビープ音が聞こえるまで、このショートカットを割り当てたイヤホンのボタンを長押しします。放してから、リクエストを言います。 
機器の音声コントロール機能を停止する	このショートカットを割り当てたイヤホンのボタンを押します。 

Spotify Tapを使用するには、Boseアプリでショートカットとして設定し(20ページを参照)、Spotifyアプリを最新の状態にしておく必要があります。

1. このショートカットを割り当てたイヤホンのボタンを長押しすると、好みに合ったおすすめの音楽を再生できます。



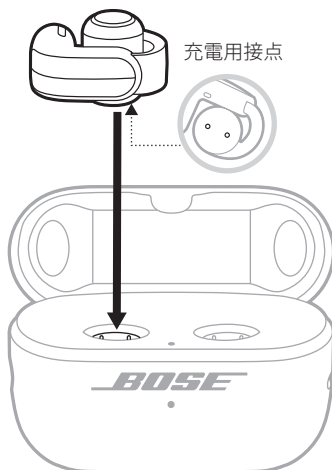
2. イヤホンのボタンをもう一度長押しすると、次のおすすめが再生されます。

イヤホンを充電する

注:

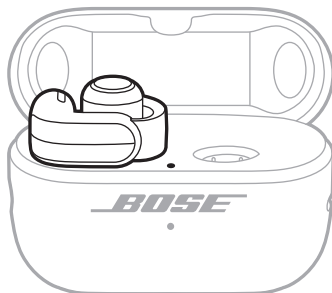
- ・ 室温が6°C ～ 39°Cの範囲内であることを確認してください。
- ・ イヤホンのバレル部分、充電用接点、ケース内部の充電端子が乾いていることを確認します。

1. 左イヤホンの接点を充電ケース左側の充電端子の位置に合わせます。



2. イヤホンをケースに入れると、磁石の力で定位置に収まります。

イヤホンのステータスインジケータが充電状態に応じて点灯します (32ページを参照)。



注: インジケータがオレンジ色の速い点滅になる場合は、イヤホンがケースに正しく収まっていません。解決方法は、33ページをご覧ください。

3. 手順1と2を繰り返して、右イヤホンも充電します。
4. ケースを閉じます。

現在のケースの充電状態に応じて、充電ケースのステータスインジケーターが点灯します(34ページを参照)。



充電ケースを充電する

注意: この製品には、法令(UL、CSA、VDE、CCCなど)に準拠したLPS電源アダプターのみをお使いください。

注: 充電の前に、室温が7°C ~ 36°Cの範囲内であることを確認してください。

1. USB Type-C®ケーブル(別売)の小さい方のプラグを充電ケースの側面にあるUSB-C®ポートに接続します。



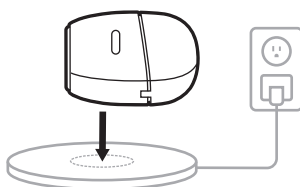
2. 充電ケーブルのもう一方の端を、パソコンやウォールチャージャーなどのUSB-C電源に接続します。

充電ケースのステータスインジケーターがゆっくりとオレンジ色で点滅します(34ページを参照)。

ワイヤレス充電

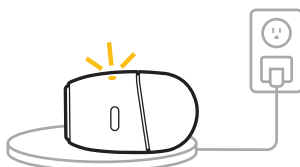
互換性のある他社製ワイヤレス充電器(別売)を使用してケースを充電できます。

1. 最も速く充電するには、充電ケース背面の下半分をワイヤレス充電器の中央に合わせてください。



2. ケースを充電器の上に置きます。

充電ケースのステータスインジケーターがゆっくりとオレンジ色で点滅します(34ページを参照)。



注:

- ・ ステータスインジケーターがオレンジ色でゆっくり点灯するまで、充電器の上で充電ケースの位置を調整する必要がある場合があります。
- ・ 詳しくは、ワイヤレス充電器の取扱説明書をご覧ください。

イヤホンの充電状態を確認する

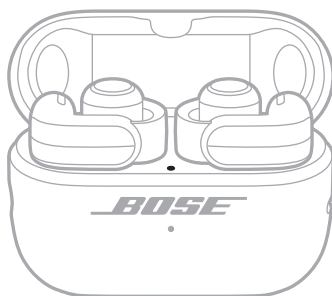
イヤホンの使用中

イヤホンのバッテリー残量を確認するには、Bose アプリを使用します。イヤホンのバッテリー残量は製品コントロール画面に表示されます。

注: どちらかのイヤホンのバッテリー残量が低下すると、通知音が聞こえます。

イヤホンの充電中

イヤホンを充電ケースに収納すると、イヤホンのステータスインジケーターが充電状態に応じて点灯します(32ページを参照)。

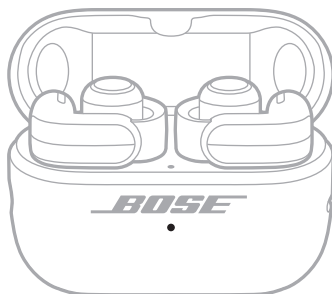


充電ケースのバッテリー残量を確認する

充電ケースを開きます。

現在のケースの充電状態に応じて、充電ケースのステータスインジケーターが点灯します(34ページを参照)。

ヒント: Bose アプリを使用してケースのバッテリー残量を確認することもできます。ケースのバッテリー残量は製品コントロール画面に表示されます。



充電時間

コンポーネント	充電時間
イヤホン	最大1時間 ¹
充電ケース	最大3時間(有線)

注:

- イヤホンのバッテリー残量が少なくなった場合、ケースを閉じて10分間急速充電することで、最大2時間使用できます²。
- イヤホンを完全に充電した場合、イヤホンで最大9時間(イマーシブオーディオと自動音量調節のどちらかをオンに設定した状態では最大5時間、両方の機能をオンに設定した場合は最大4時間)音楽を再生できます³。
- 完全に充電されたケースを使用すると、イヤホンでさらに最大28.5時間(イマーシブオーディオと自動音量調節のどちらかをオンに設定した状態では最大16時間、両方の機能をオンに設定した場合は最大12.5時間)音楽を再生できます⁴。
- 完全に充電されたイヤホンは、音楽を再生しない状態で最大20時間、機器に接続しておくことができます⁵。
- イヤホンがケースに収納されている場合は、ケースの充電時間がこれより長くなることがあります。

1 Bose Ultra Open Earbuds(第2世代)およびBose Ultra Open Earbuds(第2世代)充電ケースの製品サンプルを使用して、2026年4月にBoseが実施したテスト結果。バッテリーが消耗した状態(オーディオ再生ができない状態)のイヤホンをフル充電された充電ケースに収納して10分間充電する急速充電テストを実施し、その後、音量をラウドネス75dB、3バンドEQをゼロに設定して、イマーシブオーディオと自動音量調節をオフにしてオーディオ再生を再開した結果、バッテリーが消耗するまでの再生時間は最大2時間でした。イヤホンが完全に充電されるまでの時間は、バッテリーが消耗した(オーディオ再生ができない)イヤホンをフル充電された充電ケースに収納し、イヤホンを100%充電することで求めました。

2 1.を参照。

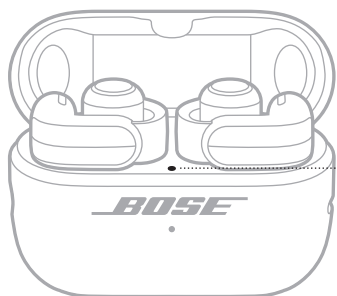
3 2026年4月にBoseが実施したテスト結果。Bose Ultra Open Earbuds(第2世代)の製品サンプルとA2DP Bluetoothオーディオストリーミングを使用し、IEC 60268-1のピンクノイズをRSSI -75 dBmで再生しました。音量は再生ラウドネス75dBに、3バンドEQはゼロに設定しました。イマーシブオーディオと自動音量調節をオフにした場合、バッテリーが消耗するまでの再生時間は最大9時間でした。イマーシブオーディオと自動音量調節のどちらかをオンにした場合、バッテリーが消耗するまでの再生時間は最大5時間でした。イマーシブオーディオと自動音量調節の両方をオンにした場合、バッテリーが消耗するまでの再生時間は最大4時間でした。バッテリー駆動時間は設定や使用状況によって異なります。

4 2026年4月にBoseが実施したテスト結果。バッテリーが消耗した(オーディオ再生ができない) Bose Ultra Open Earbuds(第2世代)の製品サンプルをフル充電されたBose Ultra Open Earbuds(第2世代)充電ケースに収納し、イヤホンを100%まで(またはケースのバッテリーが消耗するまで)充電しました。その後、A2DP Bluetoothオーディオストリーミングを使用し、イヤホンでIEC 60268-1のピンクノイズをRSSI -75dBmでバッテリーが消耗するまで再生しました。音量は再生ラウドネス75dBに、3バンドEQはゼロに設定しました。テストはケースのバッテリーがなくなるまで繰り返しました。ケースの充電により追加されたイヤホン再生時間は、イマーシブオーディオと自動音量調節をオフに設定した状態で28.5時間、イマーシブオーディオと自動音量調節のどちらかをオンに設定した状態で16時間、イマーシブオーディオと自動音量調節の両方をオンに設定した状態で12.5時間でした。

5 2026年4月にBoseが実施したテスト結果。Bose Ultra Open Earbuds(第2世代)充電ケースから完全に充電したBose Ultra Open Earbuds(第2世代)の製品サンプルを取り出し、コンテンツを再生していない状態で電話に接続し、イヤホンのバッテリーが消耗するまで接続を維持しました。

イヤホンのステータスインジケータ

イヤホンのステータスインジケータは、充電ケースの内側、左右のイヤホンの間にあります。



イヤホンのステータスインジケータ

Bluetoothの状態

Bluetooth接続の状態を示します。

インジケータの表示	システムの状態
青の遅い点滅	接続準備完了
青の速い点滅	接続しています
青の点灯(5秒間)	接続済み
白の2回点滅	デバイスリスト消去

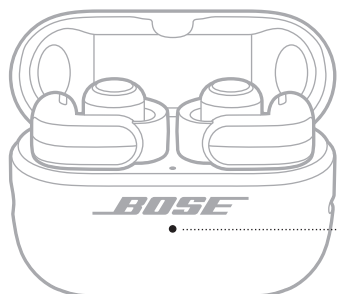
バッテリー、アップデート、エラーの状態

イヤホンのバッテリー、アップデート、エラーの状態を表示します。

インジケータの表示	システムの状態
白の点灯	充電完了
オレンジの遅い点滅	充電中
白の3回点滅(繰り返し)	ソフトウェアアップデート中(イヤホン)
白の2回点滅、青の遅い点滅、オフ	イヤホンと充電ケースのリセット中
オレンジの点滅(3秒間)	イヤホンを出荷時の設定に復元中
オレンジの速い点滅	エラー - イヤホンが充電ケースに正しく収納されていません。次の解決策を試してください。 - ケースのイヤホン収納スペースの中からプラスチックフィルムを取り除き、イヤホンを収納する妨げにならないようにします。 - イヤホンを取り出し、イヤホンの充電端子とケースの充電端子の位置が合っていることを確認します(27ページを参照)。
オレンジと白の点滅	エラー、Boseカスタマーサービスに連絡してください

充電ケースのステータスインジケーター

充電ケースのステータスインジケーターは、充電ケースの前面にあります。



● 充電ケースのステータスインジケーター

バッテリー、アップデート、エラーの状態

充電ケースのバッテリー、アップデート、エラーの状態を表示します。

インジケーターの表示	システムの状態
白の点灯	充電完了 (100%)、電源接続中
白の点灯 (5秒間)	充電済み (34% ~ 99%)
オレンジの点灯 (5秒間)	バッテリー残量低下 (10% ~ 33%)
オレンジの2回点滅	充電が必要 (10%未満)
オレンジの遅い点滅	充電中
白の3回点滅 (繰り返し)	ソフトウェアアップデート中 (イヤホン)
オレンジと白の点滅	エラー、Bose カスタマーサービスに連絡してください

Bose アプリ、デバイスの *Bluetooth* メニュー、または Fast Pair 機能 (Android デバイスのみ) を使用して、イヤホンを機器に接続できます。

イヤホンのデバイスリストには、機器を最大 6 台まで登録でき、同時に 2 台まで接続できます (マルチポイント接続)。ただし、一度に音楽を再生できる機器は 1 台だけです。

注:

- 最も良い方法は、Bose アプリを使用して機器を設定し、接続することです (11 ページを参照)。
- Fast Pair を使用した接続については、39 ページをご覧ください。

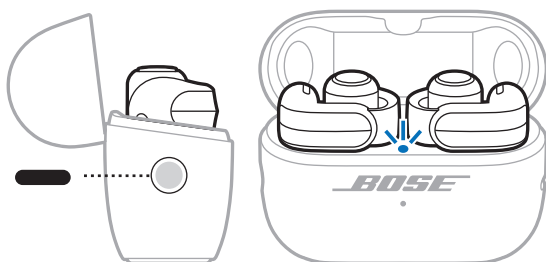
BOSE アプリを使用して接続する

Bose アプリを使用してイヤホンを接続し、*Bluetooth* 設定を管理するには、11 ページをご覧ください。

機器の BLUETOOTH メニューを使用して接続する

1. イヤホンを充電ケースに入れ、ケースを開いた状態で、ケース側面のボタンを長押しします。イヤホンのステータスインジケーターがゆっくりと青く点滅するまで押し続けてください。

注: 両方のイヤホンがケースに収納され、ケースが開いていることを確認してください。

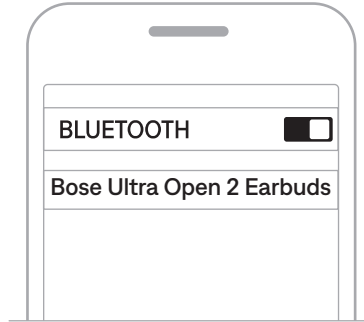


- お使いの機器の *Bluetooth* 機能をオンにします。

注: 通常、*Bluetooth* 機能は設定メニューにあります。

- 利用可能な製品のリストからイヤホンを選択します。

注: Bose アプリでイヤホンに付けた名前を探してください。イヤホンに名前を付けていない場合は、デフォルトの名前が表示されます。



接続されている製品のリストにイヤホンが表示されます。イヤホンのステータスインジケーターが青く点灯します(32ページを参照)。

機器を再接続する

イヤホンを装着していて、接続されているデバイスがない場合は、左右いずれかのイヤホンのボタンを押します。イヤホンは、最後に接続していた2台の機器に接続されます。

イヤホンをケースから取り出すと、イヤホンは最後に接続していた2台の機器に接続します。

注:

- 機器が通信範囲内(9 m)にあり、電源が入っている必要があります。
- 機器の *Bluetooth* 機能が有効であることを確認します。
- マルチポイント接続機能が無効の場合、イヤホンは最後に接続していた機器に再接続します。

別の機器を接続する

デフォルトでは、イヤホンは同時に2台までの機器に接続できます(マルチポイント接続)。

別の機器を接続するには、**Bose アプリ**(11ページを参照)、機器の *Bluetooth* メニュー(35ページを参照)、または **Fast Pair 機能**(Android デバイスのみ)(39ページを参照)を使用します。

注:

- ・ただし、一度に音楽を再生できる機器は1台だけです。
- ・マルチポイント接続機能の管理または無効化には、**Bose アプリ**を使用します。このオプションは設定メニューから設定できます。
- ・マルチポイント接続機能が無効にすると、2台目に接続した機器の接続が解除されます。

接続されている2台の機器を切り替える

1. 1台目の機器の再生を一時停止します。
2. 2台目の機器で音楽を再生します。

イヤホンが2台目の機器からストリーミングされる音声に切り替わります。

注:

- ・電話がかかってきたら、どちらの機器で音楽を再生しているかに関係なく、どちらからの着信でも受けることができます。
- ・通話中は機器の切り替えができません。

機器の接続を解除する

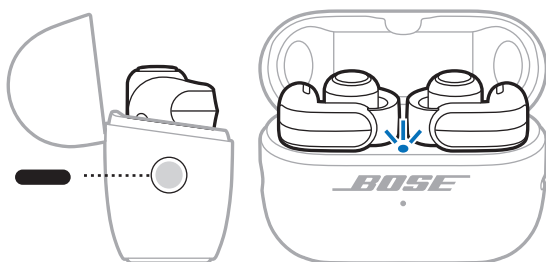
イヤホンを充電ケースに入れます。

ヒント: Bose アプリまたは *Bluetooth* 設定を使用して機器の接続を解除することもできます。機器で *Bluetooth* 機能を無効にすると、イヤホンとその他の機器との接続がすべて解除されます。

イヤホンのデバイスリストを消去する

1. イヤホンを充電ケースに入れ、ケースを開いた状態で、ケース側面のボタンを長押しします。イヤホンのステータスインジケーターが白く2回点滅し、その後ゆっくりと青く点滅するまで、約10秒間押し続けてください。

注: 両方のイヤホンがケースに収納され、ケースが開いていることを確認してください。



2. 機器の *Bluetooth* リストおよび Bose アプリからイヤホンを削除します。

すべての機器が消去され、イヤホンが新しい機器と接続可能な状態になります (11ページを参照)。

ANDROID デバイスのみ

Android デバイスを使用している場合は、次の接続機能にもアクセスできます。

Fast Pair 機能を使用して接続する

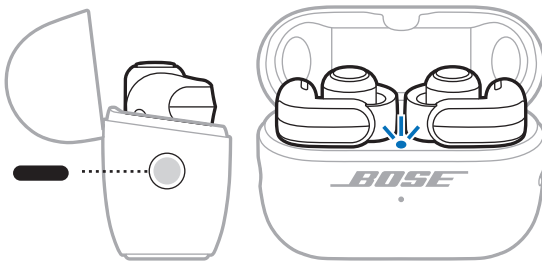
タップするだけで、イヤホンと Android デバイスをすばやく簡単に *Bluetooth* ペアリングできます。

注:

- Fast Pair 機能を使用するには、Android 6 以降を実行している Android デバイスが必要です。
- Android デバイスでは、*Bluetooth* 機能と位置情報機能がオンになっている必要があります。

1. イヤホンを充電ケースに入れ、ケースを開いた状態で、ケース側面のボタンを長押しします。イヤホンのステータスインジケーターがゆっくりと青く点滅するまで押し続けてください。

注: 両方のイヤホンがケースに収納され、ケースが開いていることを確認してください。



2. ケースを Android デバイスの横に置きます。

デバイスにイヤホンのペアリングを促す通知が表示されます。

注: 通知が表示されない場合は、デバイスで Google Play Services アプリの通知が有効になっていることを確認してください。

3. 通知をタップします。

イヤホンが接続されると、接続完了を確認する通知が表示されます。

注: 通知のボタンをタップして Bose アプリをダウンロードし、イヤホンの設定を完了することもできます。

Snapdragon Soundテクノロジー

Bose Ultra Open Earbuds(第2世代)は、Snapdragon Soundテクノロジーを採用しています。Snapdragon Soundは、接続された機器全体でQualcomm®のオーディオ技術を最適化し、ストリーミングオーディオの音質、接続の安定性、遅延を最適な状態にします。

Snapdragon Soundを体験するには、対応するAndroidデバイスなど、Snapdragon Sound認定デバイスが必要です。イヤホンを接続すると、デバイスは自動的にaptX Adaptive Bluetoothコーデックを使用してオーディオをストリーミングします。

注: イヤホンでサポートされるSnapdragon Sound機能を確認し、デバイスが対応しているかどうかを確認するには、次のサイトをご参照ください。
support.Bose.com/ueo2

イヤホンはIPX4 (防沫形)規格に適合しており、汗や悪天候の影響を受けにくいように設計されていますが、水に浸かった状態における防水性能はありません。

注意:

- ・ イヤホンやケースを持ったまま泳いだりシャワーを浴びたりしないでください。
- ・ イヤホンやケースを水に沈めないでください。
- ・ ケースに水をかけないでください。

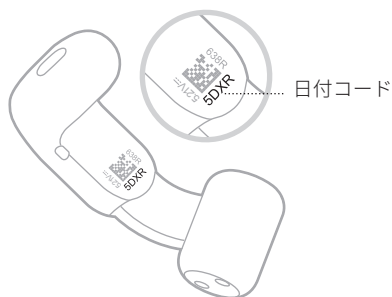
**注:**

- ・ 腐食を防ぐために、イヤホンの充電用接点を乾いた柔らかい綿棒や同等品で定期的に清掃してください。
- ・ IPX4は永続的なものではなく、通常の使用によって防水性能が低下する場合があります。

日付コード、シリアル番号、認証マークの位置

これらの情報は、イヤホンの平らな内面、充電ケースの蓋の内側、およびケースの底面に記載されています。

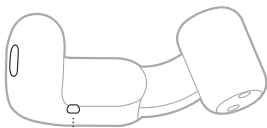
イヤホンを充電ケースから取り出し、折り曲げてバレル部分を開きます。日付コードと一部の認証マークは、イヤホンの平らな内面に記載されています。



シリアル番号とその他の認証マークは、充電ケースの蓋の内側と、充電ケース底面に記載されています。



イヤホンと充電ケースのお手入れ

コンポーネント	手順
イヤホン	柔らかい綿棒や湿らせた布(水のみ)で拭きます。
マイクポート	皮脂やほこりの蓄積を防ぐには、定期的に柔らかい綿棒で拭くか、柔らかい毛のブラシでやさしくブラッシングしてください。 注意: イヤホンを傷める恐れがあるため、マイクポートに空気を吹き込んだり、掃除機をかけたりしないでください。  マイクポート
充電用接点 (イヤホン)	腐食を防ぐために、乾いた柔らかい綿棒または同等品のみを使って拭いてください。
充電ケース	柔らかい綿棒や湿らせた布(水のみ)で拭きます。

注意: 溶剤、化学薬品、またはアルコール、アンモニア、研磨剤などを含むクリーニング液は使用しないでください。

イヤホンをアップデートする

イヤホンは、Bose アプリに接続してアップデートが利用可能な場合、自動的にアップデートを開始します。アプリの手順に従ってください。

イヤホンを保管する

イヤホンを使用しないときは、充電ケースに収納します。バッテリーの寿命を保ち、ケースにごみが入らないように、ケースを閉じてください。

交換部品とアクセサリー

交換部品とアクセサリーは、Bose製品取扱店、弊社Webサイト、またはお電話によるご注文でご購入いただけます。

次のサイトをご参照ください: support.Bose.com/uoe2

保証

製品保証の詳細はworldwide.Bose.com/Warrantyをご覧ください。

製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイト(worldwide.Bose.com/ProductRegistration)から簡単に行えます。製品を登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

トラブルシューティングの記事、ビデオ、その他のリソースには、次のサイトからアクセスできます。support.Bose.com/uoe2-og

それでも問題が解決できない場合は、Boseカスタマーサービスまでお問い合わせください。

次のサイトをご参照ください: worldwide.Bose.com/contact

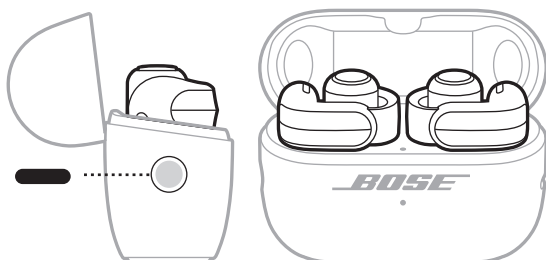
イヤホンと充電ケースをリセットする

イヤホンや充電ケースが反応しない場合は、リセットすることができます。

注: イヤホンをリセットすると、イヤホンのデバイスリストが消去されます。他の設定は消去されません。

イヤホンを充電ケースに入れ、ケースを開いた状態で、ケース側面のボタンを長押しします。イヤホンのステータスインジケーターが白く2回点滅し、その後ゆっくりと青く点滅してから消灯するまで、最大30秒間押し続けてください。

注: 両方のイヤホンがケースに収納され、ケースが開いていることを確認してください。



リセットが完了すると、充電状態に応じてイヤホンのステータスインジケーターが点灯してから、ゆっくりと青く点滅します(32ページを参照)。現在のケースの充電状態に応じて、充電ケースのステータスインジケーターが点灯します(34ページを参照)。

イヤホンを工場出荷時の設定に戻す

工場出荷時の設定に戻すと、すべての設定が消去され、イヤホンが箱から出したときの状態に戻ります。その後、初めてイヤホンをセットアップするときのように設定することができます。

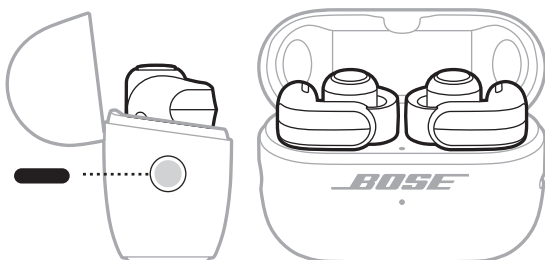
工場出荷時の設定へのリセットは、イヤホンに問題がある場合や、**Bose** カスタマーサービスから指示された場合にのみ行うようにしてください。

1. 機器の **Bluetooth** リストからイヤホンを削除します。
2. **Bose** アプリを使用して、**Bose** アカウントからイヤホンを削除します。

注: **Bose** アプリで **Bose** アカウントからイヤホンを削除する方法の詳細については、次のサイトをご参照ください: support.bose.com/u/oe2

3. イヤホンを充電ケースに入れ、ケースを開いた状態で、ケース側面のボタンを長押しします。イヤホンのステータスインジケーターが白く2回点滅し、その後ゆっくりと青く点滅してから消灯するまで、最大**30秒**間押し続けてください。

注: 両方のイヤホンがケースに収納され、ケースが開いていることを確認してください。



4. 手順3をさらに2回繰り返します。

3回目の実行後、ステータスインジケーターが**3秒間オレンジ**に点滅し、工場出荷時の設定に戻していることを示します。

復元が完了すると、イヤホンのステータスインジケーターがゆっくりと青く点滅します。これでイヤホンは、箱から出したときの状態に戻っています。

注: それでも問題が解決できない場合は、support.bose.com/u/oe2でその他のトラブルシューティング情報を参照し、サポートをご利用ください。

